

令和元年度 学位記授与式 式辞

水ぬるみ春の息吹する今日ここに、令和元年度の仁愛大学ならびに仁愛大学大学院の学位授与式を挙行いたします。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、残念ながら代表者のみの出席による式典となり、他の皆さんは中継による動画配信による参加となりました。

人間学部心理学科 89名、コミュニケーション学科 69名、人間生活学部 健康栄養学科 61名、子ども教育学科 67名 計286名の学士の学位を授与された皆さん、大学院人間学研究科臨床心理学専攻 6名の修士の学位を授与された皆さん、ご卒業および修了おめでとうございます。また、ご列席はいただけませんでしたが、ご家族の皆さまにも、この場からご祝意をお伝え申し上げます。併せて、ご子息・ご息女の在学中に本学へ寄せていただきましたご支援、ご協力に対しましても、心より謝意を表します。

さて、皆さんの進路は、さまざまですが、在学中に培われた専門的な知識や技能、体験をベースとして一人ひとりが、それぞれの場で活躍されていくことに、大きな期待を寄せるのであります。それと同時に、本学の建学の理念に基づく人間的学びも、皆さんの人生に大きな意味をもつものと確信しております。ご承知のとおり、本学は『仏説無量寿経』の「仁愛兼濟」ということを建学の理念にしております。つまり、「互いに『いのち』を尊び、共生社会の実現を目指し(仁愛)、世を照らす灯となって、それを実践する(兼濟)。」ということです。社会に巣立つ皆さんは、この願いを心にとどめて、それぞれの人生を歩んでいただきたいと思えます。

そして、私は今、皆さんにもう一つの言葉を併せて贈りたいと思えます。それは、「^{ざじ}座而^{きりゅう}起立(座して、起立す)」という古人の言葉です。つまり、「居場所を決めて立ち上がれ」という意味です。居場所を決めるとは、今いるあなたの立場を、頂いたものとして受け止めよ。そして、そこを立場として立ち上がれということです。裏庭に咲く花は、場所を選ばません。その頂いた場所で自分らしく精いっぱい咲き誇っています。あそこがいい、ここがいいと比べず、あなたは今の場所を頂いたのです。まず、そこを確固たる立脚地と定めて、そして、良し悪しにとらわれず、そこから立ち上がっていくのです。その先には、きっとあなたのあなたらしい人生が開けるでしょう。このような「人間」と「心」を回復する「ソウルメイキング・キャンパス仁愛」での学びは、皆さんのこれからの人生の礎となることでしょう。

最後に、皆さんのさらなるご活躍と人生の深い営みを念じまして式辞といたします。

令和2年3月19日

仁愛大学 学長 田代俊孝